



2012.3.5

No.218

MONTHLY

れんごう

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発 行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出 村 良 平

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

非正規労働者の賃金改善等を求めて

経済産業団体や行政関係者に要請統一行動

道内のパート、有期契約、派遣、季節労働者などの非正規労働者の総数は、推定で約80万人、雇用労働者の約4割を占めている。

しかし雇用が不安定で、多くは、賃金は低水準であり、また昇給制度もなく、ボーナスや退職金制度、教育訓練等の対象からも除外され、フルタイムで働いても貧困状態から脱却できない労働者の存在が、本道の将来に暗い影を落としている。

この間、わたしたちは、立ち遅れていた非正規労働者の組合員化、組織化を図り、正規労働者と共に生産・サービス活動を担う労働者の仲間として、格差の是正や均等待遇の実現を目指し、取り組んできたが、まだ端緒についた段階である。

このため、2012春季生活闘争における産別・単組の非正規労働者の待遇改善の取組みの環境を整え、支援すると共に、未組織の非正規労働者の貧困と格差是正を求める



る世論を喚起するため、道内の主な経済産業団体や行政関係者への要請行動を2月14日に実施し、労使対話を通じ、改善を促すため、非正規労働者に特化した待遇改善を促す要請書を提出した。

＜要請先＞

北海道経営者協会、北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会、北海道建設業協会、北海道機械工業会、北海道食品産業協議会、北海道商店街振興組合、北海道ビルメンテナンス協会、JA中央会、北海道漁業協同組合連合会、日本人材派遣協会北海道協議会、コールセンター会社等

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012021401_yousei-hiseiki.html



連合

希望と
安心の
社会づくり

連合が考える 社会保障と税の 一体改革とは



税 制

社会保障も税制も、社会の大きな変化に対応できていません。全世代を支援する社会保障と、それを支える税の改革によって「働くことを軸とする安心社会」づくりが可能となります。

一刻も早く、改革の第一歩を踏み出しましょう！

詳しくは特設サイトをご覧ください！

<http://shakaihoshocom/>

日本労働組合総連合会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
TEL 03-5295-0520 FAX 03-5295-0546

米海軍艦船の入港に断固反対

「パトリオット」函館港入港反対集会開催

例年にはない大雪と厳寒の2月14日、函館港北埠頭において米海軍第7艦隊所属掃海艇「パトリオット」の函館港入港反対集会が開催された。

函館港への軍艦入港は2010年10月のロシアミサイル駆逐艦以来2年ぶりであり、今回入港の「パトリオット」は2009年10月にも入港を行っている。

集会には、主催する連合北海道函館地区連合会に加盟する労働組合や道南平和運動フォーラムの組合員、連合推薦議員等々、約80名が参加し「パトリオット」の入港に抗議した。

挨拶に立った連合北海道渡島地域協議会・荒木会長、北海道平和運動フォーラム・長田事務局長、民主党函館支部・平出副代表等は夫々の立場から挨拶に立ち、「函館を始めとして、北海道の各港に相次ぐ米海軍の艦船入港は、平和な商業港を準軍港として固定化するものであ

り、日米新ガイドラインによる自治体協力をなし崩しにすすめるなど、軍事的役割を担わせようとしている。今回の石狩港や苫小牧港そして函館港への相次ぐ入港は、米艦船の受け入れの環境づくりであり入港は断じて認められない」等と強く訴えた。

平和都市宣言を行っている函館市民の意志に反する軍艦の入港や、函館港の準軍港化に断固反対すると共に、平和・軍縮を求める市民の意志を明記した集会アピールを採択の後、タグボートに誘導されたグレーの船体である米海軍第7艦隊所属掃海艇「パトリオット」の港埠頭接岸に合わせ、「米艦船はただちに撤退せよ！」「平和な函館港を軍港化するな！」「軍艦での友好・親善は断固反対！」等、厳しい寒さを吹き飛ばす熱い抗議のシナリコールを声高らかに実施し約40分の集会を終えた。

〈この記事のアドレス〉 http://www.renko-hokkaido.gr.jp/report/2012021402_usnavy-patriot.html



連合・国公・地公により国会議員へ要請行動

「国家公務員の給与に関する臨時特例法案」早期成立を求めて

継続課題となっている「国家公務員制度改革4法案」「国家公務員の給与に関する臨時特例法案」の早期成立を求める要請行動が2月12日、函館ロイヤルホテル一

室にて行われた。

この取り組みは、従前から行われているものの、第180通常国会における大きな課題として、地方公務員に



関わる関連法案の早期成立も含めて取り組まれたものであり、再度、連合渡島地域協議会・官公部門連絡会議・地公三者共闘の合同による申し入れを、逢坂衆議院議員に対して行ったものである。

冒頭、其々の代表による要請書手交が行われ、全農林・佐藤委員長から要請趣旨について説明が行われた後、要請を受けた逢坂衆議院議員からは、(1) 従来からの思いは揺らぐものではなく、期待に応え得るものを探みたい。(2) 厳しい環境下での7.8%削減提案についても受け入れ難いものであったとは思うが、受け入れに

感謝をする。(3) 与野党協議では、地方公務員の給与問題で合意に至っていない。(4) 関連4法案論議は経過を踏まえ、実務者レベルではなく国対マターで行うべきである。(5) 谷垣(自)発言は狂気の沙汰の発言であり、自公政権時の課題で法案化されているはず。(6) これらを踏まえて、各団体からの要請を受け止め、可能な限り全力で実現に向けた努力を行っていく。との答弁がなされ、その後、関連諸事項についての意見交換を行い、おおよそ30分で要請行動を終えた。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012021201_yousei-syuugi2.html

連合北海道青年委員会スプリングフォーラム開催 グループディスカッションなどで交流図る

連合北海道青年委員会は2月4日、札幌市内でスプリングフォーラムを開催し、11産別72人（うち女性15人）が参加した。

冒頭、牧野青年委員長（自治労）が主催者挨拶を行い、その後、青年委員会幹事の福地かおりさん（全労金）が「ろうきんについて」と題した講演を行い、参加者全体でろうきん運動、自主福祉運動の意義を確認した。

講演の後は、3時間のグループディスカッションを行い、事前アンケートを使いながら、「普段の仕事の内容、仕事のやりがいや楽しさ、不満やおかしいと思うこと、2012春季生活闘争で要求したいこと」などを話し合った。

参加者からは、「人員削減が続き、休みも取りづらくなっている。メンタルの不調も増えている」「新規採用も抑制され、職場の技術継承にも不安を感じる」「会社は



安ければ良いで外注化を進めるが、緊急時や災害時の対応に不安を感じる」「若い人の意見を聞いてもらはず、トップダウンの職場」などの声が出されていた。

集会では、こうした職場の実態や運動の交流を通じて、「多くの職場の仲間と話すことで、新たな考え方につながった」「視野が広がった」という声や、「どこの職場も同じような悩みを抱えていた。連合として活動する必要性も感じた」などの声が出されていた。

また、なかなか各地区段階での青年共闘組織が確立しきれてない状況もあり、「初めて他産別の方と話をした。新鮮だった」「率直に楽しかった」などの声も数多く出されていた。

集会の最後、牧野青年委員長が「なかなか、マスコミでは報道されない職場の実態を知ることができた。引き続き、学習や実態交流を通じて、働くものの視点に立ち社会を考えていこう。この集会で学んだこと・感じたことを仲間に伝えることから始めていこう」と集約し、スプリングフォーラムを終えた。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012020401_springforum.html



2012年度（平成24年度）北海道予算案についての事務局長談話

日本労働組合総連合会北海道連合会 事務局長 出村 良平

1. 高橋はるみ知事は2月17日、2012年度道予算案を発表した。2012年度予算案の一般会計総額は、過去10年で最も少なく、前年度より2%減の2兆7,410億円である。職員給与の削減を継続しても収支不足を解消できず、6年連続の「赤字予算」が編成された。

歳入面では、厳しい景気を反映して個人道民税や法

人2税が減少する一方、年少扶養控除の廃止等や地方消費税の増加により、道税収入はほぼ前年並みを確保したものの、国の経済対策に係る基金が減少したこと、歳入全体としては2011年度比で546億円減少した。歳出面では、道債償還費が7,070億円にのぼるほか、保健福祉関係が過去最高の3,131億円（前年度比

239億円増)に達した。対して、一般施策事業費は前年度より641億円減の5,111億円であり、道民生活や産業に関わる施策の実行にとって厳しい状況が続いている。

2. 少子・高齢化と人口減少が進む北海道において、若者をはじめ女性や高齢者の就労と活躍の場が求められる。とくに若年者雇用では、ジョブカフェの機能を抜本的に拡充し、地域の関係者との連携を強めて、若年未就職者の就労に結びつける「パーソナルサポート体制」にまで高める必要がある。また、雇用交付金事業が終了した後の雇用対策の具体化も課題である。さらに、女性の社会参加という面で、男女平等参画計画を策定している道内市町村は38(21.2%)と全国最下位であり、極めて立ち後れている。

地域医療の面でも、必要医師数実態調査(H23)では1,075人が足りないとされ、地域の医師不足は引き続き深刻である。地域医療再生基金事業の実効が上がるよう、自治体との連携をより強める必要がある。

3. 今後の道政運営の指標として、雇用創出や産業振興、省エネ・新エネや環境産業、高齢者保健福祉などの分野で2012年度から次期計画がスタートする。

2012年度予算では、「地域の視点を反映した政策の推進」が掲げられ、振興局を「地域づくりの拠点」と

して地域課題に取り組む姿勢を示している。これ自体は評価できるが、課題は、市町村や住民、事業者など地域の関係者と協働・連携する仕組みを機能させ、予算や計画に基づく諸施策を地域・現場段階においていかに展開するかである。そのためにも、振興局の役割と機能を強化する視点に立った道政運営が求められる。

また、道財政の窮状を改善し地方財政確立のため、引き続き道は地方交付税の充実・確保を求める取り組みを強めるとともに、連合北海道としても政府・与党へ働きかけていく。

4. 北海道はいま、震災からの復旧、エネルギー・環境政策の転換、TPPへの対応、社会保障と税の一体改革など、北海道の将来を左右する課題に直面しており、いずれも地域と一体となった産業政策と雇用政策の取り組みを通じて乗り越えていかなければならぬ。

連合北海道は、道民の安全と安心を支え、地域で暮らし続けることができる道政運営を求め、職場と地域から2012春季生活闘争や政策提言活動による取り組みを強めていく。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/danwa/2012022001_12douyosan.html

おめでとうございます!

マンスリー新春パネルクイズ当選者決定

「MONTHLYれんごう北海道」新春特集号(第216号)の新春パズルは、2月15日に応募を締め切り、厳正な抽選の結果、正解者の中から20名の当選者が決定しました。

当選者の方々には、クオカード(1,000円分)を送らせていただきます。おめでとうございます。

正解 「がんばろうにっぽん」または「にっぽんがんばろ

【当選者】※敬称略

浅井 司 (函館市)	立花 良行 (美幌町)
伊藤 優 (苦前町)	多附 勝利 (札幌市西区)
江藤 めぐみ (遠軽町)	千葉 利裕 (札幌市北区)
岡野 綾美 (北見市)	坪田 泰孝 (小平町)
越智 みゆき (滝川市)	富塚 武 (旭川市)
北岡 光彦 (札幌市清田区)	鳴海 朝友 (小樽市)
近藤 晴美 (釧路市)	三好 志津子 (帶広市)
佐々木 正道 (旭川市)	村上 廣次 (江別市)
竹ヶ原 知美 (深川市)	横山 義正 (苦小牧市)
多田 瑞枝 (帯広市)	渡辺 和雄 (千歳市)



3月の主な動き

イベントカレンダー

■2012春季生活闘争労働局要請

1日(木) 13:30／北海道労働局

■2012春季生活闘争経済団体要請

2日(金) 13:30／経済センタービル

■3.8国際女性デー北海道集会

4日(日) 13:00／自治労会館

■第1回全道メーデー実行委員会

7日(水) 13:30／自治労会館

■2012春季生活闘争全道総決起集会

8日(木) 18:00／札幌市民ホール

■第6回中央執行委員会

9日(金) 13:30／総評会館

■第3回就活セミナー

21日(水) 17:00／札幌エルプラザ

■第6回執行委員会

27日(火) 10:30／ホテルKKR

■第4回地協事務局長会議

27日(火) 13:30／ホテルKKR

2012春季生活闘争各ブロック総決起集会日程

●後志地協 3月 9日(金) 18:00 小樽市民センター

●渡島地協 3月 9日(金) 18:15 函館市民会館

●宗谷地協 3月13日(火) 18:15 稚内海員会館

●留萌地協 3月15日(木) 18:00 中央公民館